

技術提案書等評価基準採点表（東部下水処理場等運転維持管理業務委託）

評価事項	評価項目	採点基準	得点	配点
実績等	1. 本業務の規模に見合った業務実績	東部下水処理場の現有処理能力と同等以上の処理場の維持管理業務受託実績があること。 口径1500mm以上の雨水ポンプを有する雨水ポンプ場の維持管理業務受託実績があること。		2
	2. 地域に根ざした企業活動	公告掲載時点で高松市内に本店又は営業所が設置されていること。		3
見積価格	3. 見積価格	最安見積額業者を満点とする。見積上限額と最安見積額との差額に対する見積上限額と各業者の差額の割合に8を乗じたもの(0.1未満切り捨て)。見積価格の内訳表を、別様式使用して作成すること。提案内容と整合がとれていないものについては、ヒアリングで確認を行った上で審査し、各採点項目の中で減点する。		8
組織運営	4. 有資格者の配置	下水道管理技術認定「処理施設」又は下水道技術検定「第3種」の有資格者が10人以上配置予定であること。 技術士上下水道部門（下水道科目に限る）又は衛生工学部門（水質管理科目に限る）のうち、いずれかの有資格者を配置予定であること。		2
	5. 組織（仕様書第6条）	従事者の配置及び職務分担が適正かつ明確であり、円滑な業務履行が可能であること。 総括責任者に適切な権限が与えられており、責任の範囲が明確であること。		3
	6. 労働安全衛生活動（仕様書第12条から第15条まで）	事故の防止に向けた実施体制の考え方が適切であること。 適切な労務管理の方針が示されていること。		3
	7. 災害時や緊急時の対応（仕様書第16条）	災害など不測の事態に対応するための補強を含めた社内外体制が示されていること。		3
	8. 教育訓練（仕様書第17条）	従事者の資質向上のための教育訓練の手法が優れていること。 時期、対象者が明確になっており、実施体制が充実していること。		3
	9. 独自提案(組織運営)	独自の技術やノウハウを提供する優れた提案がされており、委託者にとって有益であること。		2
保守点検	10. 保守点検計画骨子（仕様書第21条第5項、第11項、第12項）	施設の長寿命化などライフサイクルコストの低減に取り組みながら、下水道施設の設備・機器等の性能・機能を確保することが基本方針として示されており、その実現に向けた取り組みが担保されていること。		
		重要度・代替機の有無・復旧の困難度等によるリスク評価の考え方が適切であること。		2
		施設・設備種別に応じた「予防保全」と「事後保全」の設定が適切であること。		2
		施設・設備種別に応じた点検項目、過不足のない点検頻度が設定されていること。		2
		委託者がストックマネジメントを実施するに当たって、収集すべき情報の設定が適切であること		2
		消耗品等の調達方法、在庫管理の考え方が適切であること。		2
		膨大な保守点検情報について、委託者が活用しやすいように情報を整理する方策が考えられていること。		2
	起こり得る異常の想定のもと、適切な対応策が示されていること。		2	
11. 独自提案(保守点検)	独自の技術やノウハウを提供する優れた提案がされており、委託者にとって有益であること。		2	
運転操作監視	12. 運転操作監視計画骨子（仕様書第22条）	施設・設備の機能を発揮させ、コストに留意しながら、性能基準を達成することが基本方針として示されており、その実現に向けた取り組みが担保されていること。		
		性能基準達成及び運転維持管理費用削減の個々について、目標を達成するための課題の抽出が適切であること。		2
		性能基準達成と運転維持管理費用削減との総合調整により設定する「運転操作管理点」について、「監視項目及び方法」「操作基準」「運転設定」が適切であること。		2
		定期巡視及び巡回の箇所、頻度が運転監視基本方針と整合していること。		2
	13. 独自提案(運転操作監視)	独自の技術やノウハウを提供する優れた提案がされており、委託者にとって有益であること。		2
水質分析	14. 水質分析計画骨子（仕様書第23条）	水質・汚泥等分析結果を運転管理にダイレクトに反映させることにより、処理性能と費用削減を両立した適正な運転維持管理を図ることが基本方針として示されており、その実現に向けた取り組みが担保されていること。		
		性能基準達成確認のための水質分析、汚泥分析を適切に実施する手法が示されていること。		2
		性能基準達成と運転維持管理費用削減との総合調整により設定する「運転操作管理点」について、「監視項目」に係る水質試験及び汚泥試験の実施内容が適切であること。		2
		精度管理の実施について、有効な手法が示されていること。		1
	15. 独自提案(水質分析)	独自の技術やノウハウを提供する優れた提案がされており、委託者にとって有益であること。		2
包括的業務	16. 包括的業務の実施について（仕様書第26条）	業務対応施設で発生した課題の早期解決を図るために、包括的業務の活用が図られていること。 包括的業務にて実施する見込みの業務を例示するとともに、その内容が効率的な下水道事業経営に資すると認められること。		5
		包括的業務の業務品質を証明する手法が適切であること。		2
		包括的業務の費用を低減するための考え方が適切であること。		2
水防計画骨子	17. 災害時や緊急時の対応（仕様書第16条）	水防計画骨子において、雨水ポンプ場の機能を最大限に発揮させるための考えが示されていること。		4
	18. 運転操作監視体制（仕様書第22条）	雨水ポンプ場の運転操作監視体制の考え方が適切であること。		3
その他	19. バイオマス発電の運用方法	売電収益の向上かつ汚泥の安定処理を基本とした、高効率な設備の運転手法が示されていること。		2
	20. MICS事業	し尿等を処理するための考え方が適切であること。		2
	21. 再生水処理施設の運用方法	再生水を安定供給するための考え方が適切であること。		2
ヒアリング	22. 質疑応答結果	業務経歴、実績等や、提案の実施方針及び手法等についての説明が明確であり、誠実かつ熱意ある業務履行が期待できる応答であること。		5
インセンティブ【加点項目】	23. 「官民対話」参加によるインセンティブ付与	令和3年度に実施した「高松市下水道施設運転維持管理業務委託の発注手法の官民対話」における審査結果に基づくもの		3